

三島塚古墳(高崎市)

正面前方の高まりが三島塚古墳で公園の中に保存されている



北東側から見たところ/二段築成の円墳/5世紀後半の築造とされる



南東側から見たところ



南面には墳頂に建つ三島神社の鳥居が立っている/右手は三島塚古墳の標柱



境頂に登ってみる



境頂に建つ三島神社社殿



社殿の背後の状況を見る



社殿の背後から正面方向を見たところ/さまざまな石造物もある



説明板が立っている



高崎市指定史跡

三島塚古墳

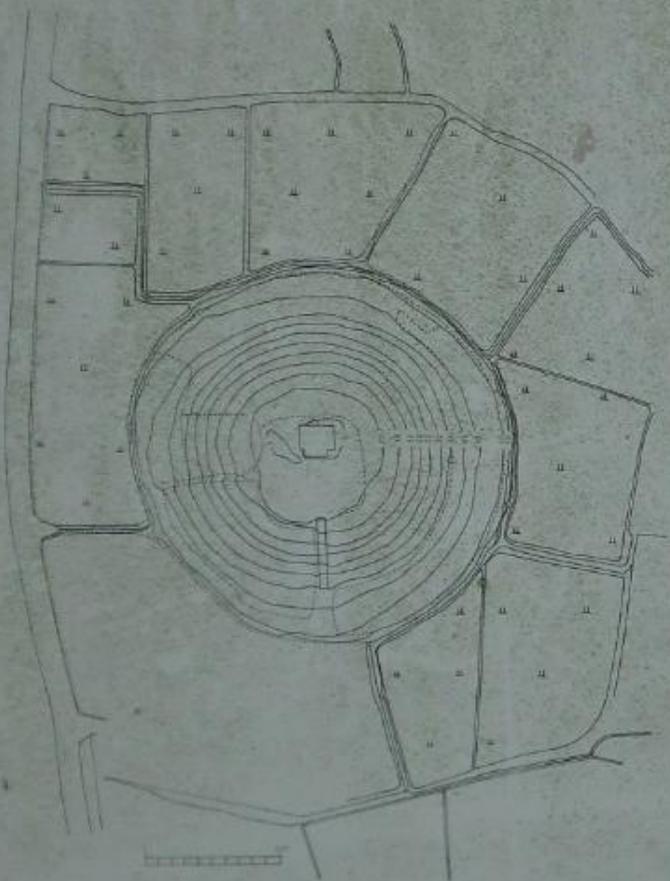
烏川右岸（西岸）の低い段丘上にあつて、小坂山の北東に位置しています。

幅十四段もある幅の広い、深い周堀をめぐらした直径五十八段、高さ五・五段もある大きな円墳で、二段に築かれ、規模に対して頂上が広く、高さの比較的低い、特色のある墳丘です。表面には葎石がほとんどこされ、埴輪も配列されています。

『上毛古墳総覧』によると、石棺が出土したことがあり、明治二十七年発掘されて、鏡や刀、勾玉など出たようですが、その所在は不明です。五世紀後半の築造と推定されています。

昭和十年の県下一斉古墳調査の時に、この周囲から観音山丘陵の東斜面にかけての石原、寺尾地区で七十六基の古墳が確認されましたが、これらの中心となる首長の古墳と考えられます。

古くから彦狭島王の墓との伝えがあり、頂上には三島神社が祀られています。古墳の呼び名は、これから名付けられたものでしょう。



ご覧の通り、鳥居の真ん前に建物が建ってしまっている



古墳の周りを回ってみる/幅14mもの周堀が巡っていたというから、まさしくこの道路の部分もこんな感じの周堀であったのであろう



正面の遺構は後世のものかもしれないが、このように墳丘が葺石で覆われていたようだ



周堀の外周は公園のスペースとなっているようだが、周堀の雰囲気は感じられる



さて、公園のすぐ北側のこちらの住宅の辺りには、石原坊主山古墳(方墳)があったという



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/takasaki_misima/

<http://blogs.yahoo.co.jp/citizen8823/11331306.html>

http://tigerdream.no-blog.jp/special/2012/07/post_4fb2.html

<http://members3.icom.home.ne.jp/nekonyanhakase/ishr.html>

http://blogs.yahoo.co.jp/kamitukeno_k/59814392.html

